

2020年2月3日
秋田キャッスルホテル

子どもたちの未来をつむぐ支援活動
開業 50 周年チャリティ事業として
書きそんじハガキ回収の取り組みをスタート

募集期間 2020 年 3 月 31 日まで、お客様向け回収 BOX をキャッスル・デリカ前に設置

秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市中通 1-3-5、代表取締役社長 長沢秀行）は、3 月 31 日まで館内 3 か所に回収ボックスを設置し、従業員をはじめ、お取引先様、ホテルを訪れるお客様を対象に、書きそんじハガキの募集を行います。

集めたハガキは、日本ユネスコ協会連盟が展開する「書きそんじハガキキャンペーン」に寄付し、世界の子どものための教育支援を行う「ユネスコ世界寺子屋運動」の活動に役立てていただきます。

当社では国連が定めた国際的な目標 SDGs（持続可能な開発目標）に呼応し、2018 年に社内検討委員会を設置、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを模索してまいりました。

この度の書きそんじハガキ回収活動は、SDGs の目標 4「質の高い教育をみんなに」の達成を目指す「ユネスコ世界寺子屋運動」に共感し、開業 50 周年のチャリティ事業として広く呼びかけるものです。

当社の開業 50 周年スローガンは「感謝をつむぐ」。皆様へのこれまでの感謝の思いと、この先も共に物語をつむいでいきたいという気持ちを胸に、未来をつむぐ活動に真摯に取り組んでまいります。

▼詳細は以下の通りです。

【実施概要】

■回収の対象：書きそんじハガキ、未使用切手、未使用のプリペイドカード

■回収ボックス設置場所：

1. 従業員食堂（対象／従業員）
➤ 従業員に対しては、毎年 2 月に行う「従業員の集い」会場内でも、事前に持参を呼びかけたうえで回収を行います。今年は、2 月 5 日と 2 月 12 日に実施します。
2. 管理部購買課 検品室（対象／お取引先様）
3. 1 階 キャッスル・デリカ前（対象／ホテルを訪れるお客様）※24 時間投函可能

■回収期間：2020 年 1 月 17 日～3 月 31 日

■回収したハガキなどの寄付について

日本ユネスコ協会連盟、秋田ユネスコ協会を通じ、寄付させていただきます。その後、仕分け、切手への交換、現金化を経て、世界寺子屋運動への募金として活用されます。

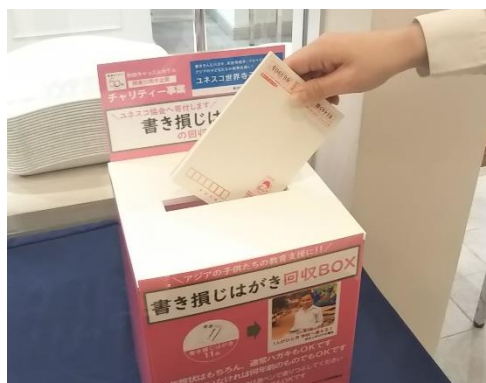
■お客様からのお問い合わせ先 秋田キャッスルホテル TEL. 018-834-1141（代表）

■本件の取材・内容に係るお問い合わせ■

秋田キャッスルホテル 担当：企画・広報課 矢野、加藤、伊藤、石井
TEL：018-834-1141／FAX：018-834-2800／<https://www.castle-hotel.jp>

<参考資料>

- ① 回収ボックス（キャッスル・デリカ前） ②ユネスコ世界寺子屋運動のポスター



■「ユネスコ世界寺子屋運動」および「書きそんじハガキキャンペーン」について

「ユネスコ世界寺子屋運動」は、基本的人権として、年齢、宗教、性別にかかわらず全ての方が公平に教育の機会を得られるように、無償で学ぶ機会を応援する活動です。

「書きそんじハガキキャンペーン」では、未使用のハガキやタンスの中に眠っている金券など「タンス遺産」を回収し、集まったハガキや切手などを募金に換え「ユネスコ世界寺子屋運動」の活動に充てるものです。書きそんじハガキ 11 枚で、カンボジアの子ども 1 人が 1 か月教育を受けられるとされています。

※詳しくは⇒<https://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

■秋田キャッスルホテルについて

公式ウェブサイト <https://www.castle-hotel.jp>

1970年7月7日開業。客室数150室、大小11の宴会場、料飲店舗5施設を有するシティホテルです。医療施設エリア「メディカルモール」、ホテルオフィス、テナントショップなどを併設し、地域の活動拠点としてあらゆるシーンでご利用いただけます。2001年よりメディカル事業部を新設し、現在、県内約40カ所の病院・福祉施設で給食業務を受託。ホテルのノウハウを生かし、利用者の皆様に美味しさをお届けしています。2020年には開業50年を迎えます。